



創立者 三島駒治・よし夫妻胸像

三島学園報

VOL. 2
2004.6

- 巻頭言「変革の波のなかで」
- 短期大学部スタート
- ますみ保育園開園



学校法人 三島学園

変革の波のなかで



学校法人 三島学園 理事長
池上 雄作

今年は桜の開花が早く、晴れた日が続いたので顕彰館の辺りはひときわ美しく映えた。そんな中、短期大学に男女共学制が取り入れられて名称も東北生活文化大学短期大学部と変更され、大学・短大に保健センターが新しく発足し、入試事務室が入試課に変更された。一方、向山のますみ幼稚園に「ますみ保育園」が併設されて発足し、4月3日の開園式は入園者を囲んで歓喜に満ちていた。準備されてきた計画が、関係者の協力で順調に動き出していることは有難く、喜ばしいことである。

昨年度の高校の男女共学化と名称変更、大学の健康栄養学専攻の発足につづいた今春の改革は、さらに明年度の短大の内部改組へと続く予定であり、総合学園としてのまとまりを求めて地固めに努めているところであるが、本学園の歴史とともに振り返ってみると、大きな変革の季節を歩んでいることに気づく。第二次大戦後を見ただけでも、家政学を中心に据えていた学園の教育は徐々にその比重が低くなり、その伝統は健在であるが、高校では普通科と商業科が中心となり、大学・短大では、美術教育が入り、管理栄養士や情報処理士などの資格取得教育が導入され、さらに保育事業への参入と、ここ数年でとくに顕著な変貌を見せようとしている。このような改革が時勢に対応して必要であることに疑いは持たないが、伝統を大切にしながら

鮮明な特質を持った学園として歩んでいくためには、さらに長期的視野にたった構想を打ち立てる必要がある。それは、わが国の教育界を包む変革の波がさらに強まると予想されるからである。

今年から国立大学は独立行政法人として発足し、経営形態が私立大学に近づいてきた。私立大学経営については、競争原理、市場経済的発想の導入が公然と唱えられるようになった。少子化の傾向はこれからも長く続き、高校、幼稚園を含めて、そのことへの対応が余儀なくされている。一方で、学力低下は、1月の新聞各紙が報じたように周知の事実となっており、この回復はわが国の将来にかかわる長期的課題である。若者の食に関する指導体制を整備するための栄養教諭免許制度の導入が始まろうとしている。‘開かれた大学’と唱えられてから久しいが、急速な社会の進歩に対応した生活を送るために、学問体系に立脚した基礎知識を求めて大学で学びたいという市民の期待は今後ますます強くなるものと思われる。

これまでに経験のない課題を抱えた変革の時期に入ってきている。しかし、学園の基本は教室の中での教育にあり、その指針が揺るがないよう細心の配慮が必要であることは言うまでもない。教職員が、各自の識見を深めながら、英知と度量を見せ変革の波に対応すべき時であると思っている。

高等学校、ボランティア活動で 宮城県知事より表彰

昭和47年に本校入学後まもなく交通事故に遭い、意識が回復しないまま20年間の闘病生活の末不帰の人となった佐藤みどりさんとそのご家族を物心両面から支援するため、高等学校生徒会は毎年「学園祭」でチャリティーバザーを開き、収益金の一部を送り続けてきた。この支援活動の精神はみどりさん亡き後も脈々と受け継がれ、平成7年には「ボランティア基金」として設立され、阪神大震災や雲仙普賢岳など様々な被災者の方々への義捐金、あしなが募金への寄付、福祉施設への車椅子寄贈等幅広く展開してきた。この実績が高く評価され、「社会福祉をはじめ環境美化、公共生活への貢献、明るい豊かな地域づくりのための『かくれた善行』や『小さな善行』に取り組んでいる個人や団体を対象に顕彰する」平成15年度「感謝のこぼれ」に選ばれ、宮城県知事より平成16年3月2日に「感謝のこぼれ」が銘記された楯が贈呈された。

Information インフォメーション

●大学・短大「オープンキャンパス2004」

○日時／平成16年8月1日(日)、6日(金)9:30～ ○内容／体験学習・キャンパス見学・受験相談コーナー ○お問合せ／東北生活文化大学・短期大学部 入試課 TEL:272-7521

●大学・生活美術学科「高校生のためのデッサンセミナー」

○日時／平成16年8月2日(月)～5日(木)、8月7日(土)～10日(火) ○内容／デッサンの実技講習 ○お問合せ／東北生活文化大学・生活美術学科 TEL:272-7519

●高校「第5回中学生美術コンクール」作品募集

○テーマ／「顔～カオ～」 ○サイズ／B3 ○表現技法／平面(技法・画材は自由) ○受付期間／平成16年8月23日(月)～27日(金) ○お問合せ／東北生活文化大学高等学校 中学生美術コンクール事務局 TEL:272-7522

●幼稚園「夏まつり・バザー」

○日時／平成16年7月10日(土)16:00～ ○場所／ますみ幼稚園 園庭(雨天時は園舎内で実施) ○内容／夜店・バザー(16:00～17:10)夏まつり(17:30～18:00)当日券販売(15:45～) ○お問合せ／ますみ幼稚園(太白区向山4-26-34) TEL:225-5020

短期大学部スタート

三島学園女子短期大学は、今年度より東北生活文化大学短期大学部と名称を変更し、新たなスタートを切った。大学・高校に次いで短大も男子学生を迎え、総合学園として大学・短大・高校の連携体制がさらに強化されるのではないだろうか。

50余年の歴史をもつ女子短大は、「家政」における科学的知識と実践力、芸術性を身につけた有能な教員をはじめ、社会人・家庭人を送り出し、その実績は評価されているものと思う。しかし現代の国際化・情報化の社

会において、男女の性差はほとんど感じられなくなってきている。男女ともに学びたい学問の探求が自由にできる時代である。生活文化学科の教育内容は、まさに社会の基本的要素である「生活文化」を学ぶことである。学生はお互いの特性を理解し尊重し切磋琢磨するならば、真に豊かな生活とは何かを実感することができると思う。入学直後の新入生オリエンテーション・研修旅行はよい出発点であった。

(短期大学部・生活文化学科長 須藤 佑子)

ますみ保育園開園

保育園開設を決定後、保育所新設準備委員会による市当局への申請事業計画や園舎建設計画作成、更に、保育士の新規採用事務や運営計画作成に追われ、その間、市当局からの約10回に及ぶ準備資料の説明会等が続き、多忙の連続であった。

3月中旬、幼稚園卒園式の翌々日の午前中、保育園竣工式の神事が厳かに執り行われ、工事終了と今後の末永い発展を祈願した。

当日の午後からは保育園入所者への説明会を実施し、新規開設保育園の運営について説明をして約40組の保護者への理解と協力を求めた。

開園して約2か月、50数名のかわいらしい笑顔を見な



がら、主任・副主任のリーダーシップのもと全職員の若さを発揮して、保護者の期待に応え「安心して過ごせる保育園」の確立と、総合学園の一環として幼稚園に併設した利点を生かす「特色ある保育園作り」に努める所存である。

(保育園長 加藤 忠男)

同窓生情報

峰岡順氏宮城県優秀教職員に表彰

宮城県教育委員会による表彰制度で、大学・生活美術学科平成7年度卒業の峰岡順氏(仙台西高教諭)が「優秀教職員」10人の内の1人に選ばれた。この制度は平成15年度から導入されたもので、今回が初の表彰となった。

同氏は教育現場での実績に合わせて、モダンアート展、宮城県芸術祭絵画展、河北美術展などでの入選入賞が高く評価された。これを機に本年度中学から高校へと任用替えとなり、より高度な教育を目指して更なる活躍が期待される。



第54回 モダンアート展 出品作
「水鏡 2004 II」180×160cm アクリル
会友佳作賞 受賞

菅野泰史氏仙台市錦町公園野外彫刻展に出品

大学・生活美術学科平成5年度卒業の彫刻家菅野泰史氏が、本年6月に仙台の中心部にリニューアルオープンする錦町公園のオープン記念野外彫刻展の公募で優秀作品と認められた。公募は模型サイズの審査で行われ、作品の斬新な現代性が審査員の高い評価を得た。「空と霧の思考」というその作品は、構想では高さ4メートル直径5メートルの円筒形の底面が、レリーフ状に極薄に白御影石で彫刻され、中に入った人間は足裏で感じる彫刻と丸く切り取られた仙台の青空を見ることになる。菅野氏は、本学卒業後愛知県立芸術大学大学院彫刻研究科を修了し、那須が原国際彫刻シンポジウムや名古屋、東京での個展で活躍している。実際に、現場でどんな作品が仙台市民を楽しませてくれるか期待したい。

大学・家政学科

大学・家政学科における勉学の総決算とも言える「課題研究発表会」が、平成16年1月29日と30日の2日間にわたって、100周年記念ホールにて行われた。研究分野・テーマも多岐にわたっており、61名の4年生から全57演題に及ぶ研究発表があり、発表後の質疑も活発に行われ、非常に熱のこもった発表会となった。また卒業式当日の3月15日には、「課題研究展」がポスターセッションの形式で行われた。



短期大学

平成16年2月26日・27日、イズミティ21において平成15年度短大卒業生による課題研究展示・発表会が行われた。課題研究は学生が1年間自主的に各自のテーマに取り組み、研究制作した、いわば短期大学における総まとめである。洋裁・染色・シュガークラフト・西洋文化研究・マルチメディア情報学・情報造形・高分子合成の7分野による展示・発表会であり、多くの方にご覧いただき、学生にとってはよい刺激となり、さらなる成長を期待する。



大学・生活美術学科

平成15年度の「生活美術学科第36回卒業制作展」が、平成16年2月13日より18日までの6日間、せんだいメディアテーク5Fギャラリーで開催された。卒業生57名による244点の作品は、洋画・日本画・版画・彫刻・デザイン・漫画・写真・インスタレーション・木工・陶芸・染色・テキスタイル・モザイク・ステンドグラスと幅広い分野にわたった。創造性豊かな力作はマスコミでも紹介され、訪れた2,000名を超える観客の目を楽しませた。



高等学校

美術コース1期生が平成16年2月17日より宮城県美術館県民ギャラリーにて、卒業制作展「じこちゅう」を開催した。16名の生きる力として自己を育て上げた結果から宇宙に届くまでをテーマに表現した。絵画・デザイン・立体造形・映像メディアの他に、陶芸・染織・七宝と幅広い分野にわたって成果をあげた。生徒達は3年間のおもいをさまざまな形に表現し、多くの方から好評をいただいた。そして1期生のほこりを胸に巣立っていった。



下山和也君3年連続 国体出場の快挙

大学・家政学科4年、下山和也君は平成15年11月に行われた第59回国民体育大会宮城県予選会スケート競技会において、スピード成年男子ショート500m・1000mに優勝。16年1月開催の青森「はやて国体」に出場した。下山君はスケート競技ショートトラックの県の第1人者として活躍し、3年連続の国体出場という快挙をなし遂げた。更にサイクルロードなどにも積極的にチャレンジしており、4年連続国体出場の夢がふくらんでいる。



学生・生徒の活躍

大学

- 選挙啓発マスコットキャラクター【優秀賞】
吉野 道子(生活美術学科3年)
四ツ目理恵(生活美術学科4年)
- 【審査員特別賞】
舟山 真紀(生活美術学科2年)
- 第1回全日本年賀状大賞コンクール 版画部門【一般の部/文部科学大臣奨励賞】
齋藤 正和(生活美術学科4年)
- 第87回河北美術展【洋画の部/入選】
竹内 功(生活美術学科3年)
- 第9回福島県ショートトラックスピードスケート選手権大会【男子1500m/第2位】 【男子500m/第3位】
下山 和也(家政学科4年)

高校

- ソフトボール部
- 第39回宮城県高等学校選抜ソフトボール大会 女子の部優勝
- 第23回宮城県私立高等学校女子ソフトボール選手権大会 優勝
- ソフトテニス部
- 「平成15年度優良団体校」表彰
- 個人
- 本田千華(平成15年度普通科卒業)
第67回河北美術展 洋画の部入選
- 荒 美花(平成15年度普通科卒業)
第31回全国マーチングバンドパトントワリング大会 出場

人事異動

1.平成16年度採用者(平成16年4月1日付)

○虹の丘キャンパス

工藤 陽子(大学家政学科講師,栄養教育,シンシナティ大卒)
 八巻 美智子(大学家政学科助手,宮城教育大大学院修了)
 岩淵 ゆかり(大学生活美術学科副手,東北生活文化大卒)
 遠藤 久美子(大学生活美術学科副手,東北生活文化大卒)
 小野寺 智美(大短図書館,事務補助員,東北生活文化大卒)
 伊藤 昭信(高校教諭,指導主事,地歴・公民,東北大卒,
 前公立中学校長)
 泉田 輝彦(高校教諭,商業,福島大卒)
 涌井 道夫(高校教諭,英語,東北学院大卒)
 佐藤 しのぶ(高校常勤講師,美術,東北生活文化大卒)
 長岡 貴史(高校常勤講師,美術,東北生活文化大卒)
 佐藤 恵美子(高校臨時職員,図書室,宮城学院大卒)

○新設 ますみ保育園

坂本 康子(保育士,主任,前支倉保育所非常勤保育士)
 村上 ひろみ(保育士,副主任,前古川みなみ保育園保育士)
 太田 有紀子(保育士)
 高橋 裕香(保育士)
 深瀬 理絵(保育士)
 板垣 奈古(嘱託保育士)
 小関 理絵(嘱託保育士)
 斎藤 由美(嘱託保育士)
 佐藤 純子(嘱託保育士)
 曾根 佐織(嘱託保育士)
 柳 牧子(嘱託保育士)
 遠藤 浩子(嘱託栄養士)

2.平成15年度退任・退職者

氏家 照彦(理事・評議員)
 伊藤 弥生(大学家政学科助手)
 青田 由美子(大学職員)
 家子 光男(大学職員)
 沼田 里枝(大学生活美術学科副手)
 平田 恵利子(大学生活美術学科副手)
 永澤 幸助(高校教諭)
 大坂 允子(高校教諭)
 伊藤 裕子(高校教諭)
 佐藤 恵美(高校事務補助員)

3.昇格者並びに所属変更(平成16年4月1日付) 大学助教授 佐藤 靖子(短大講師)

【教職員数】

平成16年5月1日現在(単位:人)

| 職名 | 学校 | 長 | 教 | 授 | 助 | 講 | 手 | 非常勤講師 | 小計 | 事務職員 保育士 | 現業職員 | 副 手 事務補助員 嘱託保育士 | 臨時職員 警備員 | 小計 | 合計 |
|-----|----|----|---|---|---|----|-----|-------|----|-------------|------|--------------------------|-------------|----|----|
| 大学 | 1 | 10 | 5 | 9 | 5 | 41 | 71 | 10 | 6 | 3 | 19 | 90 | | | |
| 短大 | | 2 | 2 | 4 | | 28 | 36 | 6 | 1 | 3 | 11 | 47 | | | |
| 高校 | 1 | 40 | 1 | 2 | | 35 | 79 | 7 | 2 | 2 | 14 | 93 | | | |
| 幼稚園 | 1 | 5 | | | | | 6 | | 1 | | 1 | 7 | | | |
| 保育園 | | | | | | | 0 | 5 | | 7 | 2 | 14 | | | |
| 合計 | | | | | | | 192 | | | | 59 | 251 | | | |

【学生・生徒・園児在籍数】

平成16年5月1日現在(単位:人)

| 学校別 | 学年 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 合計 |
|-----|------------|----------|----------|----------|---------|-------------|
| 大学 | 家政学科 | 70(55) | 78(65) | 56(43) | 63(42) | 267(205) |
| | 生活美術学科 | 44(36) | 51(38) | 50(33) | 53(42) | 198(149) |
| | 小計 | 114(91) | 129(103) | 106(76) | 116(84) | 465(354) |
| 短大 | トータルライフコース | 22(19) | 18(18) | | | 40(37) |
| | マルチデザインコース | 23(21) | 20(20) | | | 43(41) |
| | 小計 | 45(40) | 38(38) | | | 83(78) |
| 高校 | 普通科 | 231(185) | 173(144) | 153(153) | | 557(483) |
| | 商業科 | 63(10) | 72(15) | 17(17) | | 152(42) |
| | 小計 | 294(195) | 245(160) | 170(170) | | 709(525) |
| 幼稚園 | | 年少 | 年中 | 年高 | | |
| | | 9(5) | 20(8) | 33(15) | | 62(28) |
| 保育園 | | 0歳児 | 1・2歳児 | 3歳児 | 4・5歳児 | |
| | | 3(1) | 19(11) | 14(4) | 19(9) | 55(25) |
| 合計 | | | | | | 1,374(1010) |

()女子の人数

平成16年度年間主要行事予定表 (平成16年4月～平成17年3月)

| 月 | 大学・短期大学部 | 高等学校 | ますみ幼稚園 | ますみ保育園 |
|----|--|--|--|---|
| 4 | 6. 入学式 7～8. ガイダンス 12～13. 新入生 オリエンテーションキャンプ 短大2年研修旅行 14. 前期授業開始 23. 学友会総会 | 8. 入学式・始業式・新任式 9. 第1回学力テスト 14～15. 新入生オリエンテーション(松島) 28. 遠足 13～14. 球技大会 15. PTA総会・父母懇談会 21. 生徒総会 22. 模擬試験 | 6. 始園式 13. 入園式 19. 対面式 28. 保育参観・父母の会総会 30. 子どもの日大会 7. 春の遠足 12. 身体測定歯科・内科検診 | 1. 保育園開園 3. 開園式・入園式 18. 親子遠足 7～9. 保育参観・懇談会 |
| 5 | 21～22. 大美1年研修旅行 | 5～7. 高校総体 11. 卒業生講話 14～18. 中間考査 | 6. 保育参観日 9～10. 天文台見学 15.17. 動物園見学 | 7. 七夕まつり |
| 6 | 5. 後援会総会 12. 体育祭 | 8. 芸術鑑賞会 15～20. 三者面談・海外研修出発 第1回学校説明会 22～8/25. 夏季休業 26. 進学講習・就職講習 | 10. 夏まつりバザー 20. 終園式 21. 夏休み 21～22. お泊り保育 | |
| 7 | 20～26. 前期試験 26. 前期授業終了 | 26. 授業始めの式・ 第2回学力テスト | 26. 始園式 | |
| 8 | 1～9/18. 夏季休業 1.6. オープンキャンパス 2～5,7～10. 大美・高校生のための デッサンセミナー | 3～4. 生文祭 14. 第2回学校説明会 21～28. 期末考査 28. 前期終業式 | 26. 運動会 28. お月見会 29. 動物園見学 | 2. 運動会 26. 人形劇 28. いも煮会 |
| 9 | 7～9. 博物館実習旅行 7～11. 大美2年美術鑑賞旅行 14～17. 大家2年研修旅行 21. 後期授業開始 | 1. 後期始業式 第3回学力テスト 8. 体育祭 21. 生徒総会 27. 私学振興大会 | 15. いも掘遠足 26. いも煮会・人形劇鑑賞 | |
| 10 | 23～24. 大学祭 | 6. 第3回学校説明会 15～18. 中間考査(2年) 24～27. 修学旅行・中間考査(1・3年) | 8. 避難訓練 12. 七五三お参り 28. お遊戯会 | 11. こども発表会 17. もちつき会 22. クリスマス会 |
| 11 | 19. 推薦選考 | 4. 第3回読書クイズ王決定戦 21～1/10. 冬季休業 21～24. 冬期講習 | 13. クリスマス会 16. もちつき会 17. 終園式 | |
| 12 | 25～1/10. 冬季休業 | 11. 授業始めの式 25～31. 学年末考査(3年) | 11. 始園式 18. 避難訓練 | |
| 1 | 21～27. 後期試験 27. 後期授業終了 | 入学試験 25. 平和を想う日～柿Peace～ | 3. 豆まき会 22. 天文台見学 | 3. 豆まき会 14～16. 保育参観・懇談会 |
| 2 | 3～4. 入学試験(A日程) 11～16. 大美卒業制作展 24～28. 短大課題研究展示発表会 | 2. 賞状授与式・同窓会入会式 3. 卒業式 4～10. 学年末考査 18. 終業式 | 1. ひなまつり会 16. 卒園式 18. 終園式 | 3. ひなまつり会 26. 卒園式 29. 修了の会 |
| 3 | 4. 入学試験(B日程) 15. 学位記授与式・ 卒業証書授与式 | | | |

※学園創立記念日……10月27日

平成15年度消費収支計算書 (平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)

●消費収入の部 (単位:千円)

| 科目 | 補正予算 | 決算 | 差異 |
|----------|-----------|-----------|----------|
| 学生生徒等納付金 | 823,341 | 828,227 | △ 4,886 |
| 手数料 | 22,876 | 24,259 | △ 1,383 |
| 寄付金 | 950 | 2,315 | △ 1,365 |
| 補助金 | 351,374 | 382,858 | △ 31,484 |
| 資産運用収入 | 302 | 300 | 2 |
| 事業収入 | 2,230 | 2,237 | △ 7 |
| 雑収入 | 77,080 | 72,588 | 4,492 |
| 帰属収入合計 | 1,278,153 | 1,312,784 | △ 34,631 |
| 基本金組入額合計 | △ 85,940 | △ 67,763 | △ 18,177 |
| 消費収入の部合計 | 1,192,213 | 1,245,021 | △ 52,808 |

●消費支出の部 (単位:千円)

| 科目 | 補正予算 | 決算 | 差異 |
|--------------|-----------|-----------|----------|
| 人件費 | 1,027,260 | 1,044,758 | △ 17,498 |
| 教育研究経費 | 336,131 | 337,015 | △ 884 |
| 管理経費 | 115,289 | 106,904 | 8,385 |
| 借入金等利息 | 20,810 | 20,889 | △ 79 |
| 資産処分差額 | 0 | 4,550 | △ 4,550 |
| 徴収不能額 | 4,084 | 4,183 | △ 99 |
| 予備費 | 46 | 46 | 0 |
| 消費支出の部合計 | 1,503,620 | 1,518,299 | △ 14,679 |
| 当年度消費支出超過額 | 311,408 | 273,278 | 38,130 |
| 前年度繰越消費支出超過額 | 2,181,141 | 2,181,141 | 0 |
| 翌年度繰越消費支出超過額 | 2,492,549 | 2,454,419 | 38,130 |

平成16年度消費収支計算書 (平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)

●消費収入の部 (単位:千円)

| 科目 | 本年度予算 | 前年度補正予算 | 差異 |
|----------|-----------|-----------|----------|
| 学生生徒等納付金 | 865,706 | 823,341 | 42,365 |
| 手数料 | 21,490 | 22,876 | △ 1,386 |
| 寄付金 | 1,000 | 950 | 50 |
| 補助金 | 341,753 | 351,374 | △ 9,621 |
| 資産運用収入 | 250 | 302 | △ 52 |
| 事業収入 | 47,241 | 2,230 | 45,011 |
| 雑収入 | 52,752 | 77,080 | △ 24,328 |
| 帰属収入合計 | 1,330,192 | 1,278,153 | 52,039 |
| 基本金組入額合計 | △ 51,760 | △ 85,940 | 34,180 |
| 消費収入の部合計 | 1,278,432 | 1,192,213 | 86,219 |

●消費支出の部 (単位:千円)

| 科目 | 本年度予算 | 前年度補正予算 | 差異 |
|--------------|-----------|-----------|----------|
| 人件費 | 1,040,210 | 1,027,260 | 12,950 |
| 教育研究経費 | 317,151 | 336,131 | △ 18,980 |
| 管理経費 | 125,761 | 115,289 | 10,472 |
| 借入金等利息 | 22,759 | 20,810 | 1,949 |
| 徴収不能額 | 3,200 | 4,084 | △ 884 |
| 予備費 | 5,000 | 46 | 4,954 |
| 消費支出の部合計 | 1,514,081 | 1,503,620 | 10,461 |
| 当年度消費支出超過額 | 235,649 | 311,408 | 75,759 |
| 前年度繰越消費支出超過額 | 2,492,549 | 2,181,141 | 311,408 |
| 翌年度繰越消費支出超過額 | 2,728,198 | 2,492,549 | 235,649 |

東北生活文化大学

家政学科

家政学専攻と健康栄養学専攻との2つの専攻を家政学科に立ち上げ、平成16年度で2年目になる。平成16年度の新入生は、家政学専攻が26名、健康栄養学専攻が44名であり、この中には、社会人や留学生も含まれる。入学試験の新しい試みとして、健康栄養学専攻においてB日程の試験を実施したが、このときの競争率は5倍に達し、健康栄養学に対する受験生の人気の高さがうかがわれた。スタッフの異動としては、2年間勤められた伊藤弥生助手が3月に退職され、佐藤靖子助教授、工藤陽子講師、八巻美智子助手を新しくお迎えした。

生活美術学科

第36回卒業制作展を2月13日～18日までせんだいメディアテークで開催した。本展では、来場者が2,000人を超え、大きな関心と評価を得ることができた。3月15日には61名の卒業生をおくりだし、4月6日の入学式において43名の新入生を迎えることとなった。来年度の本学科創設40周年へ向けて、教員・学生とともに研究・制作活動を通して、さらなる飛躍を目指している。また、学外的には昨年同様、高校生を対象とした本学科主催の夏期セミナーを開催するとともに、県内の高等学校への働きかけを強めていく事業を予定している。

ますみ幼稚園

保育園併設に伴い、幼稚園前の正門を工事見直しをよくしたので、送迎バスや来園者の出入りが楽になった。更に駐車場を整備し全面フェンス・ロープで仕切り、照明設備を設置し一層利用しやすくなった。「先生おはよう、みなさんおはよう。」と毎朝クラス毎のあいさつから始まり、一人一人の個性に対応した取組と、友達とのかかわり方を意識させながら集団生活のルールづくりも指導しているのが毎日の姿である。少子化により園児数が減少し本年度は1クラス削減したが、子供たちの笑顔に励まされて全教職員心一つにして保育に努めている。

ますみ保育園

4月、新設保育園の園児は、鯉のぼりを見ながら外遊びを楽しんだ。お散歩車に乗った園児も一緒に遊び、時間帯によっては幼稚園児と仲良く砂場遊びをして喜んでいる光景も見られる。毎朝、母親の胸にだっこされた乳幼児や父親に手をつながれながら登園する姿が見られ、対応した保育士と健康面の様子を伝え合ったり夕方の送迎時刻等の確認をしている。午後からのお昼寝時間帯は、園内がシーンと静まり返り、寝顔や呼吸の様子をチェックしたり、寝返りをうつ子にそっとタオルを掛けながら観察するのも保育士の日課の一つである。給食は、栄養士作成の献立を、食品会社の調理師に委託している点が特色であり、おやつも喜んで食べている。

(財)奨学香風会

昭和54年に学園同窓会を母体にして設立された奨学香風会は25周年を迎え、『創立25周年記念資料集』を刊行した。これを機に18年間尽力してこられた齋藤輝子理事長が退任し、5月から初代理事長の息子である菅福彦氏が理事長に就任した。

東北生活文化大学短期大学部

短期大学は本年度から東北生活文化大学短期大学部へと名称変更し、男女共学となり新たなスタートを迎えることになった。以下三島学園女子短期大学としては最後となる平成15年度後半の行事から順次振り返ってみたいことにする。

成人祝賀会は、1月15日宮城県民会館にて、劇団四季のミュージカル「キャッツ」を観劇する形で行われた。学生には芸術表現活動を鑑賞する貴重な体験となった。課題研究発表会は、展示が2月26日・27日に、口頭発表が2月26日に、イズミティ21にて行われ活発な質疑応答が行われた。3月には三島学園女子短期大学としての最後の卒業生41名を送り出すことができた。同時に20名が全国大学実務教育協会情報処理士に本学から初めて認定された。4月には男子学生5名を含む45名を新入生として迎え、12日・13日には新入生オリエンテーションキャンプ・2年生研修旅行が実施された。南花巻温泉を宿泊地として、水沢市国立天文台・衣川のニュージーランド村(ソーセージ作り体験学習)、牛の博物館(バター作り体験学習)を見学・研修した。天候にも恵まれ、短期大学部の出発にふさわしいすばらしい研修旅行となった。

東北生活文化大学高等学校

3月3日は桃の節句。体育館ステージに飾られた「お雛様」が見守る中、新校名「東北生活文化大学高等学校」第1回卒業証書授与式が厳粛かつ盛大に執り行われ、136名の卒業生が新しい世界へ勇躍飛翔すべく学び舎を巣立っていった。4月8日には、男子99名を含め昨年を上回る294名の新入生を迎えて、活気ある学校生活の新たなスタートを切ることが出来た。

さて、平成15年度後半の高等学校の主な行事と活動状況について振り返ってみたい。先ず生徒達のめざましい活躍である。発表会ごとに素晴らしい踊りを披露したダンス部。県高校美術展、河北美術展等において多数の入選入賞者を出した美術部・デッサン部の活躍。更には、第1回美術コース卒業制作展を約200点の作品を中心に宮城県美術館で開催したところ、期間中の入場者は数百名を超え盛会裡に終了した。また、保育コース2年生の「幼児教育演習」の授業の中で、制作された「お店屋さん」の作品16点を本年2月校内において展示発表した。作品全てに将来の保育士を目指した生徒の意気込みが感じられる内容であった。次に、他にない本校独自の教育活動があげられる。4年目を迎えた「朝の読書」の指導と普及を兼ねた、第2回読書クイズ王決定戦中学生大会には100名を超える中学生が参加し、これまた県内私立高校初の「朝の読書」実践校として広くアピールする事ができた。また、4年前、生徒会を中心に平和への想いを新たにしていきたいという強い願いから、全校挙げて取り組んできた「時の蘇生・柿の木プロジェクト in MISHIMA」。今年も百周年記念棟ホールで平和へのイベントが開催され、今日なお続く世界各地での戦争や紛争の終結を祈願し平和の尊さを学ぶことができた。こうした文化面の大活躍は、高校総体を前に各運動部に自信をもたらし、先般行われた第39回宮城県高等学校選抜ソフトボール大会の優勝、第23回宮城県私立高等学校ソフトボール選手権大会の優勝と、女子ソフトボール部が連続して優勝旗をわが校のものとし、運動部としては十数年ぶりの快挙となった。以上のように主たる行事を中心に振り返って見たが、教職員の共通理解のもと校名改称、共学化を機に地道ではあるが、21世紀を生き抜くたくましい人間づくりに、その成果が現れてきているように思われる。

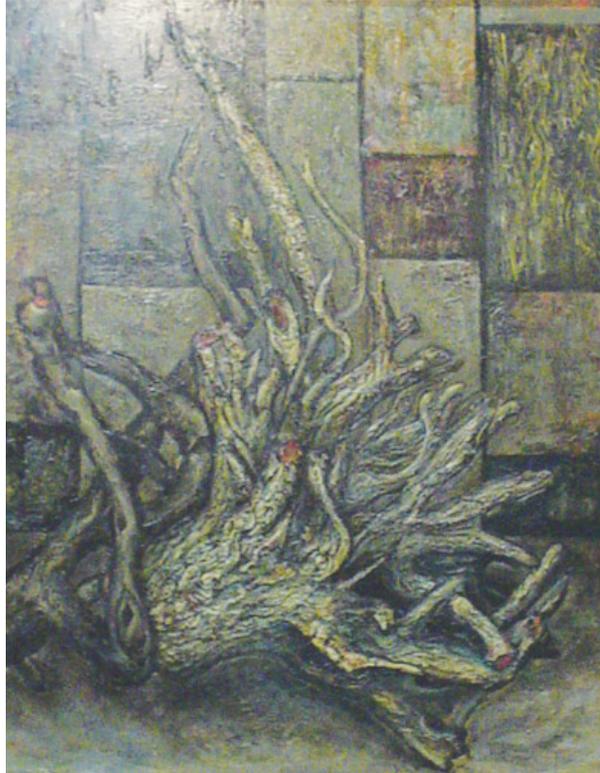
理事会の 主なる議題

- 平成16年1月24日 ◎平成17年度から短期大学部生活文化学科への専攻の設置とそれに伴う学則の一部変更について
- ◎平成16年4月人事関係について
- 平成16年3月13日 ◎平成15年度補正予算について
- ◎平成16年度収支予算について
- ◎保育園の設置に係る諸規程の制定について
- 平成16年5月22日 ◎平成15年度学校法人計算書類について
- ◎平成15年度監査報告について

訃報

本学園発展のためにご尽力くださった方へ心からお悔み申し上げます。

- 大脇 潮 【大学・教授】数学、家庭電気、家庭機械
(平成15年10月4日逝去)
- 尾花 芳子 【学園相談役・同窓会名誉会長・(財)奨学香風会理事】(平成16年3月17日逝去)
- 神山 とし 【大学・短大・高校講師】家庭(裁縫)
(平成16年1月25日逝去)



「颯志」

(F80号油彩・第67回河北美術展 洋画の部入選)

平成15年度高等学校卒業 **本田 千華**

高校に入って海で流木と運命的な出会いを果たし、毎日のように木と会話し、同時に自分自身と向き合う中で沢山のことを感じ学んだ。一番強く木が訴えかけてきたことは、こうして私と出会うまでの道程である。それを強く感じ取った私は、色や形など様々な部分で表現できるように努力した。作品の題名も特別に想いを込めているのでよく味わって見ていただければ幸いである。 (本人談)

編集後記

学園報第2号をお届けします。年2回の発行予定で、学園全体の動向をわかりやすく読めるように編集しています。学園を取り巻く社会環境の変化はあわただしいですが、それに対応し時代の求める人材育成に資する本学園の教育改革は、今確実に実を結びつつあります。紙面ですべてをご理解いただくのは難しいですが、学園全体が有機的結びつきを一層強めつつ、着実に前進していることを読み取っていただければ幸いです。(三島学園広報委員会)

学校法人 三島学園 学園報 第2号 平成16年6月1日発行 三島学園広報委員会編集

III 学校法人 三島学園 〒981-8585 仙台市泉区虹の丘1-18 TEL.022-272-7511(代) FAX.022-272-7516
[URL] <http://www.mishima.ac.jp> [E-mail] hojin@mishima.ac.jp